

輸出事業計画

※申請者名： 笹木醤油株式会社 品目： 醤油・調味料

1. 輸出における現状と課題

- ・付加価値のある減塩醤油の開発・輸出に約30年前から着手し、現在は米国・EU・アジアのECサイト・小売店・外食店向け中心に輸出中
- ・有機JAS認証を令和4年12月に取得。
- ・木桶を使った長期発酵・熟成工程に由来する小ロット生産ゆえの輸送非効率、現地でのプロモーション活動不足、HACCP関連世界認証の未取得が輸出拡大における課題
- ・特に価格競争が激しいアジア圏、世界の外食業務用分野で、価格優位な大手メーカーとの差別化に向け、高品質特徴商品による富裕層向け販路開拓が必要と認識

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出拡大に向けた生産能力の向上・品質向上を目的とした、令和5年中に少容量充填対応の最新の醤油充填ラインへの設備投資予定・FSSC22000については取得を検討中
- ・現地輸入卸と連携した自社醤油と現地料理のマッチングメニューの検討・開発推進、インフルエンサーと連携したデジタルプロモーション（SNSの活用）
- ・随時商流構築に向けた海外展示会への出展および現地フェアでの販売・試食会
- ・年間を通じてJETROと連携した現地ニーズ/規制情報の把握、リアル/オンライン商談会への参加
- ・減塩醤油以外にも、再仕込生醤油、ぽん酢醤油、胡麻ドレッシング等の特徴ある商品群、化学調味料・保存料不使用等製法により、大手醤油メーカーとの差別化

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- P**： 現地バイヤー及びJETROからの現地情報/規制情報に基づき、直接輸出を含めた輸出事業計画・設備投資計画を検討（毎年一回社内稟議）
- D**： 計画に基づき、国内・海外での商談会・フェア販売等へ参加し、輸出を実施（毎月実績把握・報告）
- C**： 輸出の進捗状況について、JETRO・自治体・金融機関・域内連携事業者等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し（基本四半期毎）
- A**： マーケットインの観点から商品品質・ラベル・商流・宣伝広告内容を調整し、実行する

4. 輸出目標額

	【確定】 (2021年度)	【目標】 (2030年度)
輸出額（円）	650万	6,000万
主な輸出先	米国・EU（フランス・ドイツ・スペイン）等	米国・EU・香港・台湾・カンボジア等

- ・2030年の目標額は、国内外全体の売上の10%を想定